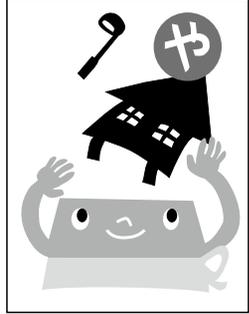




女と男の

ナムアミダブツ⑤

藤場 芳子



や やめました 良妻賢母と 縁の下

漱石の妻

夏目漱石の妻が「悪妻」で有名だったことをご存知でしょうか。駒尺喜美さんの『漱石という人』によれば、妻・鏡子は朝寝坊で漱石に朝食を食べさせずに出勤させたことがしばしばあったとい...

「良妻賢母」は誰のためか。

「悪妻」がいれば「良妻」もいるわけですが、一体誰がそれを決めるのでしょうか。明治時代、政府が欧米に追いつけ追い越せと近代国家を推し進める時に、女性に求めたのが「良妻賢母」でした。富国強兵のために子どもたちを「良い国民」に育てる役割が期待されたのです。でも、そんなのはとくに昔の話。今の若い女性たちには死語ではないかしらと思っ...

周囲から期待され、やがて「ねばならない」「当たり前」だと思われ、ことへの抵抗感、悲しみ、諦めなどいろいろな思いが混ざっているのだと思います。一方、「女と男のあいあカルタことば集」の中には「客帰り 亭主閑白 終わります」というものもあります。お客様の前では「おい、お茶もつけてくれ」なんて言っている夫に対して、妻もまた「良妻」として一緒に「亭主閑白」を演じていることがあるからです。時代は変わっても、女性も男性も案外昔のままの価値観を引きずっているのかもしれない。

今年流行語大賞に「ありのままで」がノミネートされました。『手伝って』と言えない」と元氣のない声で話し始めました。先輩ママたちは「私もそうだったよ」「やってもらいたいことを具体的に伝えたほうがいい」「一人で抱え込んじゃだめ」といろいろアドバイスをしましたが、最終的には、外から求められた「良妻賢母」をいつしか内面化して「そうあらねば」と思い込み、自分自身を縛っているのではないかと、いうことになりました。

『阿弥陀経』には極楽に咲いたくさんの蓮の華が「青い花には青い光があり、黄色の花には黄色の光があり、赤い花には赤い光があり、白い花には白い光がある」と描かれています。画一化されず、一人ひとりが光る世界。あなたには、あなたの隣にいる人がひとりの輝く人として見えていますか。

今回のカルタの絵はエプロンを付けたお母さんが、おたまと家を投げ打って「良妻賢母をやめた！」と縁の下から叫んでいるところ。こんな風にはできたらいいけれど、現実には悶々としながら日々の生活を送っているのではないのでしょうか。「良妻賢母」や縁の下で支えるのがイヤというよりも、

次回は酒井義一さんの「私を照らすひかりの言葉⑥」です。

託された思いを胸に

～飛騨御坊ボランティア委員会・第7回被災地支援活動報告～

飛騨御坊ボランティア委員会では、12月9日～11日の日程で、東日本大震災以降7回目となる活動を行ってまいりました。被災された方々からの「忘れないで！」という願いを受けてから3年9ヶ月、交流を続けております。



飛騨から届けた野菜

今回の活動では、始めに、福島県二本松市の真行寺さんにうかがい、皆さんからお寄せいただいた野菜を届けました。お話をきかせていただく中で、原発事故以降さまざまな不安や見えない恐怖をぬぐいきれないまま生活せざるを得ない現状を改めて感じました。

次の日には宮城県牡鹿郡女川町へ向かいました。震災当初の炊き出しから始まった訪問でありましたが、今では交流会が中心となっています。飛騨から持ち込んだ「大根汁」を一緒に食べながら、女川・飛騨、それぞれの味でお餅をいただきました。

今でも多くの方々が仮設住宅で生活しておられ、復興への道のりはまだ始まったばかりなのだとも感じました。そんななか、女川町の皆さんは私たちと同じ時を過ごすことを本当に大切にしてください。今後もこのご縁を大切にしながら活動を続け、託された思いを飛騨の皆さんに届けさせていただきたいと思っております。



女川の皆さんによる歓迎の余興



楽しく語り合った交流会

高山別院お煤払い奉仕のお願い

12月21日(日)午後1時からのつとめの後、本堂の煤払いを行います。1年の汚れを落とし、新年をお迎えます。ぜひともご奉仕をお願いいたします。

※持参品…マスク・タオル・軍手など



ご回壇

11月(日) 映芳寺

18日(日) 稱讚寺

11月(日) 下之町

大谷婦人会 新年定例会

期日 1月11日(日) 時間 午後1時から 会場 御坊会館 法話 大町慶華 輪番

甘酒の接待があります

真宗本廟(東本願寺) 収骨団体参拝 参加者募集

真宗本廟収骨とは、京都東本願寺の親鸞聖人の御真影が安置される御影堂の御もとにご遺骨をお収めすることです。収骨を行うには、相続講金を納めることにより発行される「収骨証」が必要です。

ご希望の方は、お手次のお寺までお申し込みください。

期間 3月14日(土)～15日(日)【1泊2日】 日程 お齋(昼食)、真宗本廟法話、収骨、帰敬式、大谷祖廟参拝、比叡山参拝など 宿泊 観光旅館 近江屋 定員 20名 ※定員になり次第締め切り

※参加人数が10名未満のときは、提示した参加費での開催が困難となるため、中止とさせていただきます。

参加費 お一人 33,000円

締切 2月10日(火)

※詳細については教務所(☎0577-32-0776)へお問い合わせください。